

奈良租税教育推進協議会の活動

中学生・高校生の作文表彰式

令和元年 12月 12日「中学生・高校生の税の作文表彰式」が奈良ロイヤルホテルで開催されました。

中学生・高校生「税の作文」表彰式



表彰式の風景

作文





令和元年12月12日（木）、中学生・高校生の税に関する作文受賞者5名（川上紗和さん（平群中3年）、藤村夏希さん（都跡中3年）、江澤瑞樹さん（平城西中3年）、植田陽南さん（奈良学園高2年）、郷田夏美さん（郡山高2年））と奈良県教育委員会教育長、奈良納税協会会長、奈良納税貯蓄組合連合会会長、近畿税理士会奈良支部長、奈良税務署長が座談会を開催し、作文に込めた思いや租税教育などについて、熱心に意見交換を行いました。

なお、その模様は、12月15日に奈良新聞朝刊に掲載されKCNにも放映されました。

この座談会では、受賞者の皆さんが、自身の経験や学習によって気づいた税の大切さや役割などについて自分の意見を述べ、教育長等の出席者と熱く意見交換をするなど、大変有意義なものでした。

「税の作文」受賞者（中学生・高校生）との座談会を開催！

令和元年10月1日、消費税率の引上げと軽減税率制度が導入され、税についての関心が高まる中、国税庁と税に関する団体は毎年、中学生と高校生を対象に税の作文を募集し、奈良税務署管内では、近畿でもトップクラスの応募数がある。

令和元年12月12日、税の作文表彰式に合わせて、奈良税務署管内受賞者と、税に関する団体の代表者らが奈良市内に集まり、座談会を開催。税の作文に込めた想いや租税教室について熱心に意見を交換した。



司会 ただ今から、「税の作文受賞者との座談会」を開催いたします。はじめに、本会の主催であります奈良税務署の岸部署長から伺います。

税の作文表彰式を終えて

岸部 皆さん、お疲れさまでございました。表彰式でも申し上げましたが、本年、奈良税務署管内の税の作文の応募状況は、中学生からは四千七百七十一編、高校生からは二千四百六十二編の応募がございました。そのうち、本日表彰させていただいたのは中学生五十八編、高校生二十一編の計七十九編でございます。その中から代表して5名の皆さんに税の座談会に参加していただいております。皆さん、表彰式が終わったばかりではありますけれども、表彰式を終えての感想などありましたらお聞かせください。



【生徒さんからの回答】

司会 それでは、生徒の皆さん、順番に回答をお願いします。

江澤 (中学生) このような賞をいただけるだけでも嬉しく思います。これをきっかけに、さらに税について学んでいければなあと思います。

藤村 (中学生) 一審初めに聞いた時はとても驚きました。でも普段税について考える機会がな

なかない中で、今回の作文をきっかけに税について調べ、正しい知識を身に付けることが出来て、とても良い機会になったと思いますし、このような賞をいただけるだけでも嬉しかったです。

川上 (中学生) この賞を受賞し、とても嬉しいです。私の姉も昨年受賞しているの、奇跡だなと思いました。この税の作文を書いたことにより、税の使われ方を知ることができました。

植田 (高校生) 先ほどもスピーチさせていただいたのですが、すごく緊張したんですけど、私が税に関して学んできたことをこういった式典で表彰していただけて、今後頑張ろうと決まっています。

郷田 (高校生) 正直、この作文が選ばれたと思っていませんでした。すごくびっくりしていますし、表彰されたことをとても光栄に思っています。そして、この税の作文を通して、これからは税についてももっと深く知っていかたいなと思っています。

司会 それでは、本日のテーマの一つであります「税の作文」に関して、奈良県教育委員会の吉田教育長から御意見を伺います。

吉田 「学び」がこれから変わっていきます。国の方も県も、まず主眼的に学び、それから対話的に学び、深く学ぶ学習を進めようとしています。それでも学校の学習は、知識を習得する、テストのために勉強するという方向に流れることが多いのですが、皆さんは、こうして作文を書いたことで、深い学びをされたのではないかなと思います。

私 の方からは、皆さんに税の作文に込めた想いや願いを教えてくださいと思います。

税の作文に込めた想い・願い

吉田 「学び」がこれから変わっていきます。国の方も県も、まず主眼的に学び、それから対話的に学び、深く学ぶ学習を進めようとしています。それでも学校の学習は、知識を習得する、テストのために勉強するという方向に流れることが多いのですが、皆さんは、こうして作文を書いたことで、深い学びをされたのではないかなと思います。

私 の方からは、皆さんに税の作文に込めた想いや願いを教えてくださいと思います。



【生徒さんからの回答】

司会 それでは、生徒の皆さん、順番に回答をお願いします。

江澤 税金は、私も今まではあまり身近な存在ではないと思っていましたが、教科書で税金で賄われているという私達中学生に

とって身近なところから税について考えていけたらいいなと思って書きました。

藤村 誰かを助けたらいいな、地球環境を守りたいとか、みんなが思っている、一人が動いただけではできないし、みんなが思っているだけでも実現できないと思います。そんな時に、税金が私達の想いを効率よく最大限に活かしてくれると思います。そんな素晴らしいことを伝えたいという想いを込めて書きました。

川上 まずは、周りの人に税の使われ方や使われている方法を知ってほしいなと、普段歩いてる道路や学校に目を向けることにより、より身近に税に支えられているということを伝えたいなと思っています。

植田 去年も、税の作文に取り組ませていただいたのですが、その時は正直あまり税に関する知識もなくて・・・でも、今回2年生になって、授業でSSHの税に関する活動をしてきて、社会に対する考え方の変化を自分でも感じているので、そういう自分の成長を税の作文に込められたらなあという想いで書きました。



藤村 夏希さん
【作品名】
税も積もれば夢となる

郷田 まず、できるだけ多くの人に納得のいく税の使い方を知らしてもらいたいという想いを込めました。

吉田 本日に税について、しっかり考えておられ、中学生、高校生と、成長が見られます。皆さんの想いは、題名に一番出ています。私が最も面白いなと思ったのは、「税も積もれば夢となる」です。なかなかないですね。その夢が社会を創造するものにどんどんつながる、広がっていくと思います。

本 日に良い作文をありがとうございました。

司会 続いて、奈良納税貯蓄組合連合会の尾川会長から御意見を伺います。

尾川 今日は、本日に皆さん、おめでとうございます。緊張しないでください。

納 税貯蓄組合という団体がありまして、その会と私が出会ったのは、二十八歳の時でした。本日にその頃は、税って大事なことだなというのを私にもはっきりと分かっていまして。

今、皆さん方がそれぞれ作文をお書きになっていたわけですが、私もこれまで何らかの感謝を受けて、ずっと、この作文事業のお手伝いをさせていただいています。今回も、中学生で四千幾ら、高校生で二千幾らの応募をいただきました。今回は、中学生で四千幾らで、高校生で二千幾ら、8年前まで全国で奈良県は、作文の数が一番だったのですよ。八千近くだったかな。今は、少子化やいる道路や学校に目を向けることにより、より身近に税に支えられているというところを伝えたいなと思っています。

調べてみて、理解したこと

尾川 今日は、本日に皆さん、おめでとうございます。緊張しないでください。

納 税貯蓄組合という団体がありまして、その会と私が出会ったのは、二十八歳の時でした。本日にその頃は、税って大事なことだなというのを私にもはっきりと分かっていまして。

今、皆さん方がそれぞれ作文をお書きになっていたわけですが、私もこれまで何らかの感謝を受けて、ずっと、この作文事業のお手伝いをさせていただいています。今回も、中学生で四千幾ら、高校生で二千幾らの応募をいただきました。今回は、中学生で四千幾らで、高校生で二千幾ら、8年前まで全国で奈良県は、作文の数が一番だったのですよ。八千近くだったかな。今は、少子化やいる道路や学校に目を向けることにより、より身近に税に支えられているというところを伝えたいなと思っています。

郷田 私は、文系SSHの時に、財務省の方々に、実際に来ていただいて話を聞いていただいたのですが、その時にいただいたパンフレットや資料、学校の教科書を参考にしながら書きました。

植田 私は、この作文を書いた時は、ちょっと軽減税率が取り入れられた時で、その軽減税率の仕組みは、既に海外では行われていることだと知ってすごく驚きました。

川上 私は、学校から配付された冊子や国税庁のホームページを参考にしました。納められている税金が巡り巡って私達の生活をより便利に、豊かにしていることが分かりました。

藤村 私は、県庁に置かれていた地方税ガイドを読んで奈良県の税について調べました。私は、税の使い道について、病気になる時とか、小中学生に向けてとか、限定されているイメージがあったのですが、実際には、スポーツイベントを行っていたり、森林や河川の整備をしたりと、みんなが安心して暮らせる社会を支えてくれていることが分かりました。

江澤 私は、学校で配られた学年通信やインターネットを利用して調べました。

今 まで、あまり意識していなかった教科書の無償化に対して様々な意見や、また、少し悲しい背景があるということも知ることが出来ました。



郷田 夏実さん
【作品名】
明るい未来のための税金有効活用

郷田 私は、文系SSHの時に、財務省の方々に、実際に来ていただいて話を聞いていただいたのですが、その時にいただいたパンフレットや資料、学校の教科書を参考にしながら書きました。

植田 私は、この作文を書いた時は、ちょっと軽減税率が取り入れられた時で、その軽減税率の仕組みは、既に海外では行われていることだと知ってすごく驚きました。

川上 私は、学校から配付された冊子や国税庁のホームページを参考にしました。納められている税金が巡り巡って私達の生活をより便利に、豊かにしていることが分かりました。

藤村 私は、県庁に置かれていた地方税ガイドを読んで奈良県の税について調べました。私は、税の使い道について、病気になる時とか、小中学生に向けてとか、限定されているイメージがあったのですが、実際には、スポーツイベントを行っていたり、森林や河川の整備をしたりと、みんなが安心して暮らせる社会を支えてくれていることが分かりました。

江澤 私は、学校で配られた学年通信やインターネットを利用して調べました。

今 まで、あまり意識していなかった教科書の無償化に対して様々な意見や、また、少し悲しい背景があるということも知ることが出来ました。

【回答に対する感想】

尾川 皆さんに配付しているパンフレットは、いろいろありますが、果たして皆さんに理解していただけているかどうか、十分だったかなと、私も資料を作る側からしてみても、見る側の反応に興味があるし、次は、もう少し違ったものにしてみようかなとも思っています。

皆さん に配っているパンフレットは、生徒さんに行き渡っていないです。皆さんもインターネットをされるので、閲覧できる資料としては、みんな同じ条件ですね。その中でも、本日選ばれた皆さんのように、突出した素晴らしい作品に仕上げているだけの方と数字だけ並べているだけの作品を提出される方もいて、その格差は大きいと感じています。

郷田 さんがおっしゃったように、家族に教わったり、先生方に教わったり、本日の資料だけじゃなしに、ある程度のところまで資料があって、その上に、自分の想いを乗せ、積み重なっていくのが作文なのだという気がします。

植田 やっぱ資料をお配りする私たちも、資料やパンフレットというものは、きちんと吟味して出さないと、きちんと思いません。

司会 続いて、奈良納税協会の植野会長から御意見を伺います。

植野 どうも、おめでとうございます。いろいろ作文を読ませていただいて、やっぱり賞をもらっていただけの作文だなあとつくづく感じをいたしました。

私 からは、この作文を作るに当たって、やっぱりこういう点を述べてみたかったとか、こういう点に苦労したとか、こういう点はなかなか難しかったなあとか、そういうところがあれば、一つでも結構ですから教えてください。

藤村 私は、県庁に置かれていた地方税ガイドを読んで奈良県の税について調べました。私は、税の使い道について、病気になる時とか、小中学生に向けてとか、限定されているイメージがあったのですが、実際には、スポーツイベントを行っていたり、森林や河川の整備をしたりと、みんなが安心して暮らせる社会を支えてくれていることが分かりました。

江澤 私は、学校で配られた学年通信やインターネットを利用して調べました。

今 まで、あまり意識していなかった教科書の無償化に対して様々な意見や、また、少し悲しい背景があるということも知ることが出来ました。

郷田 私は、文系SSHの時に、財務省の方々に、実際に来ていただいて話を聞いていただいたのですが、その時にいただいたパンフレットや資料、学校の教科書を参考にしながら書きました。

植田 私は、この作文を書いた時は、ちょっと軽減税率が取り入れられた時で、その軽減税率の仕組みは、既に海外では行われていることだと知ってすごく驚きました。

川上 私は、学校から配付された冊子や国税庁のホームページを参考にしました。納められている税金が巡り巡って私達の生活をより便利に、豊かにしていることが分かりました。

藤村 私は、県庁に置かれていた地方税ガイドを読んで奈良県の税について調べました。私は、税の使い道について、病気になる時とか、小中学生に向けてとか、限定されているイメージがあったのですが、実際には、スポーツイベントを行っていたり、森林や河川の整備をしたりと、みんなが安心して暮らせる社会を支えてくれていることが分かりました。

江澤 私は、学校で配られた学年通信やインターネットを利用して調べました。

今 まで、あまり意識していなかった教科書の無償化に対して様々な意見や、また、少し悲しい背景があるということも知ることが出来ました。

述べたかった点、苦労した点

植野 どうも、おめでとうございます。いろいろ作文を読ませていただいて、やっぱり賞をもらっていただけの作文だなあとつくづく感じをいたしました。

私 からは、この作文を作るに当たって、やっぱりこういう点を述べてみたかったとか、こういう点に苦労したとか、こういう点はなかなか難しかったなあとか、そういうところがあれば、一つでも結構ですから教えてください。

藤村 私は、県庁に置かれていた地方税ガイドを読んで奈良県の税について調べました。私は、税の使い道について、病気になる時とか、小中学生に向けてとか、限定されているイメージがあったのですが、実際には、スポーツイベントを行っていたり、森林や河川の整備をしたりと、みんなが安心して暮らせる社会を支えてくれていることが分かりました。

江澤 私は、学校で配られた学年通信やインターネットを利用して調べました。

今 まで、あまり意識していなかった教科書の無償化に対して様々な意見や、また、少し悲しい背景があるということも知ることが出来ました。



【生徒さんからの回答】

司会 それでは、生徒の皆さん、順番に回答をお願いします。

郷田 インターネットで調べたり、家族の話を聞くことで税金に

ついでに知識を得ることは、難しいなと感じました。

また、その背景や社会環境の情報も勉強することも難しいなと思いました。そして、工夫した点は、今までは少し違う使い方や自分なりにいろいろ考えてみようと思ったことです。

植田 高校1年生の時に書いたものよりは、もっといいものにしたという想いが強くて、工夫した点は、学習した内容を用いて増税に対する自身の考えをより説得力あるものにした点と、ちょっと話題になつてきた軽減税率をテーマに取り入れた点です。逆に、苦労した点は、このように伝えたいテーマが複数あったので、文章を分かりやすく構成することにすごく苦労しました。

川上 自分の身近に起こった道路の舗装工事や学校にエアコンが設置されることが税につながっているのだからと、みんなに伝わるように心掛けました。

藤村 納税に対して、義務だからというふうにするのではなく、使い道をみんなに知ってもらって納税したら、未来に大きく貢献できる。それなら、私も納税したいなとみんなに思ってもらえるように、奈良県での税の身近な使い道や環境と関わりを深い使い道として挙げるように工夫しました。

江澤 工夫した点は、税は難しいとか自分から離れたところで行われているものという意識を、教科書というだけ毎日使うような身近なところから考えようとしたことです。少しでも、税について身近に考えることができるように、読んだ人にそう思ってもらえるように考えてみました。

植野 中学生の川上さんは、日常生活の体験を元に書かれていて、藤村さんは、弟さんの急な病気のことを書かれています。それから、江澤さんは、日々使っている教科書の無償化の話ですね。そこからそれぞれ税に対する話をされ、税の大切さであるとか、税が自分達を守ってくれているのだとか、税が日々の生活を豊かにしてくれるのだとか、そういうことがこの身近な事象を捉えて説明していただいています。

誰 もが分かりやすく読んで身近に感じているというふうに思っています。

郷田 私は、文系SSHの時に、財務省の方々に、実際に来ていただいて話を聞いていただいたのですが、その時にいただいたパンフレットや資料、学校の教科書を参考にしながら書きました。

植田 私は、この作文を書いた時は、ちょっと軽減税率が取り入れられた時で、その軽減税率の仕組みは、既に海外では行われていることだと知ってすごく驚きました。

川上 私は、学校から配付された冊子や国税庁のホームページを参考にしました。納められている税金が巡り巡って私達の生活をより便利に、豊かにしていることが分かりました。

藤村 私は、県庁に置かれていた地方税ガイドを読んで奈良県の税について調べました。私は、税の使い道について、病気になる時とか、小中学生に向けてとか、限定されているイメージがあったのですが、実際には、スポーツイベントを行っていたり、森林や河川の整備をしたりと、みんなが安心して暮らせる社会を支えてくれていることが分かりました。

江澤 私は、学校で配られた学年通信やインターネットを利用して調べました。

今 まで、あまり意識していなかった教科書の無償化に対して様々な意見や、また、少し悲しい背景があるということも知ることが出来ました。

郷田 私は、文系SSHの時に、財務省の方々に、実際に来ていただいて話を聞いていただいたのですが、その時にいただいたパンフレットや資料、学校の教科書を参考にしながら書きました。

植田 私は、この作文を書いた時は、ちょっと軽減税率が取り入れられた時で、その軽減税率の仕組みは、既に海外では行われていることだと知ってすごく驚きました。

川上 私は、学校から配付された冊子や国税庁のホームページを参考にしました。納められている税金が巡り巡って私達の生活をより便利に、豊かにしていることが分かりました。

藤村 私は、県庁に置かれていた地方税ガイドを読んで奈良県の税について調べました。私は、税の使い道について、病気になる時とか、小中学生に向けてとか、限定されているイメージがあったのですが、実際には、スポーツイベントを行っていたり、森林や河川の整備をしたりと、みんなが安心して暮らせる社会を支えてくれていることが分かりました。

江澤 私は、学校で配られた学年通信やインターネットを利用して調べました。

今 まで、あまり意識していなかった教科書の無償化に対して様々な意見や、また、少し悲しい背景があるということも知ることが出来ました。

郷田 私は、文系SSHの時に、財務省の方々に、実際に来ていただいて話を聞いていただいたのですが、その時にいただいたパンフレットや資料、学校の教科書を参考にしながら書きました。

植田 私は、この作文を書いた時は、ちょっと軽減税率が取り入れられた時で、その軽減税率の仕組みは、既に海外では行われていることだと知ってすごく驚きました。

川上 私は、学校から配付された冊子や国税庁のホームページを参考にしました。納められている税金が巡り巡って私達の生活をより便利に、豊かにしていることが分かりました。

藤村 私は、県庁に置かれていた地方税ガイドを読んで奈良県の税について調べました。私は、税の使い道について、病気になる時とか、小中学生に向けてとか、限定されているイメージがあったのですが、実際には、スポーツイベントを行っていたり、森林や河川の整備をしたりと、みんなが安心して暮らせる社会を支えてくれていることが分かりました。

江澤 私は、学校で配られた学年通信やインターネットを利用して調べました。

今 まで、あまり意識していなかった教科書の無償化に対して様々な意見や、また、少し悲しい背景があるということも知ることが出来ました。

郷田 私は、文系SSHの時に、財務省の方々に、実際に来ていただいて話を聞いていただいたのですが、その時にいただいたパンフレットや資料、学校の教科書を参考にしながら書きました。

植田 私は、この作文を書いた時は、ちょっと軽減税率が取り入れられた時で、その軽減税率の仕組みは、既に海外では行われていることだと知ってすごく驚きました。

川上 私は、学校から配付された冊子や国税庁のホームページを参考にしました。納められている税金が巡り巡って私達の生活をより便利に、豊かにしていることが分かりました。

藤村 私は、県庁に置かれていた地方税ガイドを読んで奈良県の税について調べました。私は、税の使い道について、病気になる時とか、小中学生に向けてとか、限定されているイメージがあったのですが、実際には、スポーツイベントを行っていたり、森林や河川の整備をしたりと、みんなが安心して暮らせる社会を支えてくれていることが分かりました。

江澤 私は、学校で配られた学年通信やインターネットを利用して調べました。

今 まで、あまり意識していなかった教科書の無償化に対して様々な意見や、また、少し悲しい背景があるということも知ることが出来ました。

それから、高校生の植田さんは、最近実施された消費税の引上げ問題をとり、日本の国の財政まで考えているという、財政にはいろんな問題があり、プライマリバランスもいろいろあることがあり、年間の予算を審議するのが国会だとか、あるいは、政治のあり方ということも書いておられます。こういうことを通して自分たちの税への意識や税への向き合い方がはっきり示されています。また、植田さんは、日本が直面する社会環境問題を通して、地球規模で解決していかなければならないことがたくさんあり、それが本気でそうだった現実を目の当たりにして、果たして私たちが納める税というのが本当にその解決のために使われているのかという、そういうことを考える時に、税の透明性であるとか、公平性であるとか、あるいは、納税の得られる活用について、やっぱり税に関心を持って見ていきたいという思いがよく伝わりました。ありがとうございました。

司会 それでは、「税の作文」に関して、最後の質問とさせていただきますが、奈良税務署の岸部署長いかがですか。

岸部 皆さんの今までの話を聞き、勉強される時に、税の仕組みと同時に使われる道についても、非常に勉強されていると感じました。

期待する税の使われ方

私も税務署は、国の財政のうち、どちらかと言うと歳入、入る方ですね、税を賦課して徴収する方の役割を担っています。令和元年度の国の一般会計の歳入は、約百一兆円ございますが、そのうち、税金の収入は、約六十二兆円です。

そういった集めたお金を皆さんがいろいろな勉強された社会事業であるとか、公共事業であるとか、教育といったものに使っていくということ。教育の分野には、非常に皆さんの税金を注ぎ込んでおいて、公立学校の児童生徒一人当たり、年間教育費で言いますと、小学生なら約八十七万円、中学生なら約百一十万円、高校生なら約九十八万円ということ、なんと、小学校から高校まで

公立学校で十二年間通しますと、約一千百万円の税金で賄われているということ。先ほど、使われ方について話に関心が示されていましたが、皆さんが税の使われ方についてこれから期待していることなどについて、お話を伺えればと思います。

【生徒さんからの回答】

司会 それでは、生徒の皆さん、順番に回答をお願いします。

江澤 私は、税金を払った人たちがみんなが「税金を払って良かったな。」と思えるような使われ方をしたいと思っています。

藤村 学校で配られた資料を見たときに、県でも国でも、歳出のグラフを見ると、地方債や国債などの返還のために多くの税金が使われています。しかも、このままではそれらは増えてしまう一方で、このため、私達は税を利用するだけではなく、今の暮らしを未来にも残せるような、今は納税できない私達にも可能な節約方法を知らないとダメです。

川上 ニュースや新聞で、老後の年金が足りないのではないかなど報道されていますが、赤ちゃんからお年寄りの方までどの世代でも不安なく安心して暮らせるようになってほしいなと思います。

吉田 私は、高等学校の数学の教員でした。高等学校では高等学校の教科書を使って教えますが、何を教えるかが大切で、場合によっては教える内容に強弱をつけることもあります。

しかし、中学校の場合は、教科書の内容を全ての分野にわたってしっかり教えることが大切である。となると、税については学習するにしても、ある意味では、知識中心の理解になるかもしれない。そのような中で、租税教室が、皆さんの学びをより豊かにすることができると考えます。租税教室を受けたことがある方に、受けてみてどうだったか教えてほしいです。

【生徒さんからの回答】

司会 それでは、租税教室を受けたことのある、江澤さん、いかがですか。

江澤 租税教室では、始めにパワーポイントを利用して、税についての説明をしていただいた後に、6人ずつ班に分かれて税の負担の分け方について話し合ってもらった。考え始めてみると、6人の意見がバラバラでまとめるのが大変だったのですが、税金の使い方や分け方について調べて、すごく楽しかったと思います。

これはやはり難しいですが、いい勉強になったということですね。こういった租税教室が広がってほしいなと思いますか？

江澤 そうですね、中学生や高校生でも、税について考えていく人が増えてほしいなと思います。

吉田 はい、ありがとうございます。

司会 続いて、近畿税理士会奈良支部の上松支部長から御意見を伺います。

上松 皆さん、おめでとうございます。この作文の表彰式には、私初めて参加させていただいたのですが、税の仕事をしている私にとっても、こんなに優秀な方が税金に関心を持っていただいているのすごく感激しました。本当に嬉しかったです。

大抵の人は、税金は嫌だ、聞きたくないという人が多いのですが、若い生徒さんたちが一生懸命勉強して作文を作ったこと、これは本当に有難いことだと思います。

それで、今お聞きしましたら、租税教室に参加された方はこの中で一人だけで、他の方は租税教室の経験がなくてあれだけの作文を書いていたというので、あら、租税教室に参加していただいたら、もっと素晴らしい作文が出来るのではないかと思っております。

私たち税理士会では、年間かなりの人数の税理士を学校に講師として派遣しています。その際には、やっぱり作文の中で見られたように身近なことから掘り起こして、人を説得していく、普遍的な税金の必要性を説いていくといった手法だったと思います。租税教室でもそのようなやり方で講師は講演していると思っています。

いろいろ税の使い方が難しいと、いった意見があったのですが、税は二面性がある、集める難さを使う難さがあるのですね。

今、皆さん、身近でどういう形で使っていくのが良いかという使用方の面をお勉強されていると思いますが、これから先、成長されて大人になられたら、納める方の難しさも分かっていたいただけるのではないかと思います。

【生徒さんからの回答】

司会 それでは、租税教室を受けたくない、江澤さん以外の方、順番に回答をお願いします。

藤村 調べていく中で、いろいろな種類の税があつて、中には名前が難しい税や、あまり関わりのないような税もたくさんありました。私たちが中学生にも、それらの税が分かるように、資料や具体例を交えて様々な税について学んでみたいと思います。

川上 税の使い方をもっと詳しく知りたいなと思います。納税は当たり前ですが、もし、納税しなればどんなことが起きるのかということを知りたいです。

植田 租税教室ではないのですが、文系SSHの授業で財務大臣になったと仮定して、実際に、GDPを使って、GDPで税率を変えたりして政策を立てるといふことをやったことがあります。

その時に、実際に財務局の方にきていただき、私たちが発表したものに、コメントしていただき、プロの方々に見ていただけたことがすごくいい経験になったと感じています。今度は、その財務局や税に携わるお仕事を知りたいなというふうにも思いました。全員に響くかどうかは分からないのですが、租税教室をする中で、税に興味を持つ人もいて、思うので、どんどん、租税教室ができるようになったらいいなと思います。

いって学ぶことができるのではないかと思います。

【回答に対する感想】

上松 税について、具体的にどのようなものがあるかを知りたいということですが、我々も混乱します。川上さんがおっしゃったのは、もし、納める人がいなくなるとどうなるか、それから植田さんは、税に携わる仕事や税の使われ方に関心があるのですね。例えて言いますと、集める税金は、皆さんが食事して摂る栄養だと思ってください。使う税金は、体の身となり、肉となり、血となって動く活力になります。もし、税金を払わない人がいたらどうしますか。栄養が取れず、体も動かなくなる。日本国中そんなことになる可能性があるわけですから、必要とする人のために税金は納めないといけない。ただし、これには先ほど集めることは難しいと言いましたが、いかに公平な基準で集めるか、自分だけ損をしている、そういうことのないように納める力のある人が納める。そして、力のない人は、その税金の使い道によって助けられる。これがやっぱり日本のあるべき姿だと思っております。

だから、集める難さを使う難さ、この作文の多くのテーマで言われている使われ方、正しい使い方、我々が安心して生活できるように、これが究極の課題なのだと思います。それで、集める方は、政治家が一生懸命考えて税率をどうしようか、誰に負担してもらおうか、どうしように配ろうか、こういうことを日夜考えておられます。

将来、成長されたら、税金の使い方、政治についても考えていただきたいと思います。最後に、こういう作文を書いていただき、きっかけや研究されたことは、皆さんの将来にも役立つと思います。

しかし、税のことだけでなく、もっと他の分野、いろんなことにも興味を持って、調べる、探る、考える、そういった経験を活かし、成長していただきたいと思います。これらは、皆さんの大きな人格を作る力になると思いますので、税金のことだけでなく、いろんな方面に興味を持って勉強していただけたらと思う次第です。私からは以上です、ありがとうございます。

【回答に対する感想】

岸部 いろいろな方法で勉強されたというふうな同い、インターネットなどでも見られたということもおっしゃっていただいていたと思いますが、国税庁のホームページの中に、税の学習コーナーがあって、結構色分けされて、分かりやすい入り口になっていると思うので、見られたり使われたりされた方がいたら、よかったら、具体的にここが良かったとか、ここが使い難かったとかお聞かせ願えればと思います。

【生徒さんからの回答】

司会 それでは、植田さん、いかがですか。

植田 上級者向けと初級者向けがあつて、それがすごく分かりやすく良かったと思います。

【回答に対する感想】

岸部 見られた方が一人だけだったのですが、我々としてもみんなにご紹介申し上げて、使っていただけるように頑張っていきたいと思っております。

ありがとうございます。

司会 それでは、お時間となりますので、奈良税務署の岸部署長から本会の総括をお願いします。

岸部 本日は、おめでとうございます。ありがとうございました。そして、座談会に出席していただき、ありがとうございます。

税務署がどうして租税教育の分野に関わっているかということについて、お話しさせていただきます。

元々、税務署は法律で決められた税金を課税したり、徴収するという仕事をしていますが、その仕事を整えるという仕事があります。納税者の皆さんに税のことを知ってもらって、納めやすい、いろいろなツールを作るなどという仕事で、その一つが租税教育です。

児童・生徒の皆さんに、将来税を納めるためのために、こういう税金があつてこういう仕組みになっている、こういうことを使われている、ということを、今の段階から分かっているようにしていきたい

ということで、税務署が租税教育に取り組んでいます。そして、それがなぜ重要なのかということですが、納税は、憲法に定められた国民の義務であつて、税は暮らしや社会に欠かせない公共サービスの財源になっていくためには、国や社会の在り方を、人ごとではなく自らに関わる問題として捉え、主体的に考える必要があります。

ご自身で主体的に考えていただくために、納税の意義を学生のときから分かっていただくことが大切なので、今回、作文を讀ませていただき、また、今日の座談会でいろいろと話を聞かせていただけて、生徒の皆さんが、税の作文を書くという学習の機会を通じて、社会の仕組みや税の意義について正しく理解され、頼もしく思いました。

これを機に、今後も社会の仕組みや税の意義について、さらに勉強していただければと思います。税務署として、引き続き、租税教育の二本柱である税の作文事業や租税教室への講師派遣に積極的に取り組んでいきたいと思います。

本日は生徒の皆さんから「意見を聞かせていただきありがとうございます」という言葉を聞かせていただき、ありがとうございました。

また、保護者の皆様や先生方におかれましては、遅くまで参加いただきましてありがとうございます。

さらに、奈良県教育委員会吉田教育長、奈良納税協会植野会長、奈良納税貯蓄組合連合会尾川会長、近畿税理士会奈良支部上松支部長におかれましては、大変お忙しい中、表彰式に続いて座談会に参加いただき感謝申し上げます。

本日は、いただいた御意見については、今後の租税教育の参考にさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

【回答に対する感想】

岸部 ありがとうございます。中学生、高校生それぞれの立場で社会がより良くなるようにというふうなことをお考えだということがよく伝わってきました。こういう考え方をずっと持ち続けて勉強をしていただけて、十八歳になって選挙権が得られた時には、そういった知識を投票に活かしていただきたいと思っています。

司会 それでは、もう一つのテーマであります「租税教室」に関して、奈良県教育委員会の吉田教育長から御意見を伺います。

吉田 私は、高等学校の数学の教員でした。高等学校では高等学校の教科書を使って教えますが、何を教えるかが大切で、場合によっては教える内容に強弱をつけることもあります。

しかし、中学校の場合は、教科書の内容を全ての分野にわたってしっかり教えることが大切である。となると、税については学習するにしても、ある意味では、知識中心の理解になるかもしれない。そのような中で、租税教室が、皆さんの学びをより豊かにすることができると考えます。租税教室を受けたことがある方に、受けてみてどうだったか教えてほしいです。

【生徒さんからの回答】

司会 それでは、租税教室を受けたことのある、江澤さん、いかがですか。

江澤 租税教室では、始めにパワーポイントを利用して、税についての説明をしていただいた後に、6人ずつ班に分かれて税の負担の分け方について話し合ってもらった。考え始めてみると、6人の意見がバラバラでまとめるのが大変だったのですが、税金の使い方や分け方について調べて、すごく楽しかったと思います。

【回答に対する感想】

岸部 ありがとうございます。中学生、高校生それぞれの立場で社会がより良くなるようにというふうなことをお考えだということがよく伝わってきました。こういう考え方をずっと持ち続けて勉強をしていただけて、十八歳になって選挙権が得られた時には、そういった知識を投票に活かしていただきたいと思っています。

司会 それでは、もう一つのテーマであります「租税教室」に関して、奈良県教育委員会の吉田教育長から御意見を伺います。

吉田 私は、高等学校の数学の教員でした。高等学校では高等学校の教科書を使って教えますが、何を教えるかが大切で、場合によっては教える内容に強弱をつけることもあります。

しかし、中学校の場合は、教科書の内容を全ての分野にわたってしっかり教えることが大切である。となると、税については学習するにしても、ある意味では、知識中心の理解になるかもしれない。そのような中で、租税教室が、皆さんの学びをより豊かにすることができると考えます。租税教室を受けたことがある方に、受けてみてどうだったか教えてほしいです。

【生徒さんからの回答】

司会 それでは、租税教室を受けたことのある、江澤さん、いかがですか。

江澤 租税教室では、始めにパワーポイントを利用して、税についての説明をしていただいた後に、6人ずつ班に分かれて税の負担の分け方について話し合ってもらった。考え始めてみると、6人の意見がバラバラでまとめるのが大変だったのですが、税金の使い方や分け方について調べて、すごく楽しかったと思います。

【回答に対する感想】

岸部 ありがとうございます。中学生、高校生それぞれの立場で社会がより良くなるようにというふうなことをお考えだということがよく伝わってきました。こういう考え方をずっと持ち続けて勉強をしていただけて、十八歳になって選挙権が得られた時には、そういった知識を投票に活かしていただきたいと思っています。

司会 それでは、もう一つのテーマであります「租税教室」に関して、奈良県教育委員会の吉田教育長から御意見を伺います。

吉田 私は、高等学校の数学の教員でした。高等学校では高等学校の教科書を使って教えますが、何を教えるかが大切で、場合によっては教える内容に強弱をつけることもあります。

しかし、中学校の場合は、教科書の内容を全ての分野にわたってしっかり教えることが大切である。となると、税については学習するにしても、ある意味では、知識中心の理解になるかもしれない。そのような中で、租税教室が、皆さんの学びをより豊かにすることができると考えます。租税教室を受けたことがある方に、受けてみてどうだったか教えてほしいです。

【生徒さんからの回答】

司会 それでは、租税教室を受けたことのある、江澤さん、いかがですか。

江澤 租税教室では、始めにパワーポイントを利用して、税についての説明をしていただいた後に、6人ずつ班に分かれて税の負担の分け方について話し合ってもらった。考え始めてみると、6人の意見がバラバラでまとめるのが大変だったのですが、税金の使い方や分け方について調べて、すごく楽しかったと思います。

令和元年 作文

編集：奈良税務署

租税教室等の開催状況

児童、生徒、学生の皆さんに税の意義や役割を正しく理解していただくため、税理士、納税協会、納税貯蓄組合の会員、地方公共団体職員及び税務署職員が講師となってパワーポイントや模擬紙幣の1億円、DVD等を用いて租税教室・講演会を開催し、本年度開催校は109校でした。

小学校 69校

学校名	学年
奈良市	
飛鳥小学校	6年
右京小学校	6年
大宮小学校	6年
近畿大学附属小学校	6年
興東小学校	6年
左京小学校	6年
佐保川小学校	6年
佐保台小学校	6年
朱雀小学校	6年
済美小学校	6年
済美南小学校	6年
青和小学校	6年
田原小学校	6年
大安寺小学校	6年
大安寺西小学校	6年
鼓阪小学校	6年

学校名	学年
鼓阪北小学校	6年
鶴舞小学校	6年
帝塚山小学校	5年
東市小学校	6年
登美ヶ丘小学校	6年
富雄北小学校	6年
富雄第三小学校	6年
奈良育英小学校	5年
奈良女子大学附属小学校	6年
二名小学校	6年
東登美ヶ丘小学校	6年
伏見小学校	6年
伏見南小学校	6年
平城小学校	6年
平城西小学校	6年
都跡小学校	6年
三碓小学校	6年
明治小学校	6年
柳生小学校	6年
六条小学校	6年

学校名	学年
大和郡山市	
片桐小学校	6年
片桐西小学校	6年
郡山北小学校	6年
郡山西小学校	6年
郡山南小学校	6年
治道小学校	6年
平和小学校	6年
矢田南小学校	6年
天理市	
櫛本小学校	6年
井戸堂小学校	6年
前裁小学校	6年
丹波市小学校	6年
二階堂小学校	6年
福住小学校	6年
柳本小学校	6年
山の辺小学校	6年
生駒市	
あすか野小学校	6年

学校名	学年
生駒小学校	6年
生駒北小学校	6年
生駒台小学校	6年
生駒東小学校	6年
生駒南小学校	6年
壹分小学校	6年
桜ヶ丘小学校	6年
鹿ノ台小学校	6年
俵口小学校	6年
真弓小学校	6年
平群町	
平群小学校	6年
平群北小学校	6年
平群南小学校	6年
三郷町	
三郷小学校	6年
三郷北小学校	6年
安堵町	
安堵小学校	6年

帝塚山小学校
講師：奈良納税協会



学校名	学年
奈良市	
飛鳥中学校	3年
育英西中学校	3年
月ヶ瀬中学校	全校
奈良育英中学校	2年
奈良教育大学附属中学校	3年

中学校 18校

学校名	学年	
二名中学校		3年
登美ヶ丘中学校		2年
平城中学校		2年
平城西中学校		3年
大和郡山市		
郡山中学校	1年	
郡山西中学校	3年	
郡山東中学校	3年	
郡山南中学校	3年	
奈良学園中学校	3年	
天理市		
北中学校	3年	
生駒市		
上中学校	3年	
斑鳩町		
斑鳩中学校	3年	
斑鳩南中学校	3年	

奈良市立伏見南小学校
講師：財務事務所



高等学校 10校

学校名	学年
育英西高等学校	2年
生駒高等学校	1年
高円高等学校	1年
登美ヶ丘高等学校	3年
奈良育英高等学校	2年
奈良学園高等学校	2年
奈良工業高等専門学校	5年
西の京高等学校	3年
平城高等学校	3年
法隆寺国際高等学校	1年

大学・専修学校 11校

学校名
近畿大学
帝塚山大学
奈良大学
奈良学園大学
奈良教育大学
奈良県立大学
奈良女子大学
奈良歯科衛生士専門学校
奈良保育学園
奈良理容美容専門学校
ハートランドしぎさん看護専門学校

大和郡山市立郡山南小学校
講師：近畿税理士会奈良支部



生駒市立生駒南小学校
講師：奈良県



奈良市立鶴舞 小学校
講師：奈良市役所



大和郡山市立平和小学校
講師：大和郡山市役所



天理市立山の辺小学校
講師：天理市役所



平群町立平群小学校
講師：平群町役場



三郷町立三郷小学校
講師：三郷町役場



安堵町立安堵小学校
講師：安堵町役場



奈良市立右京 小学校
講師：奈良税務署



帝塚山大学 講演
講師：奈良税務署 署長



奈良学園大学 講演
講師：奈良税務署 副署長





職場体験学習



平城中学校2年生2名と、登美ヶ丘中学校2年生2名が奈良税務署を訪れ、税務署の仕事の体験を通じて、税の意義や役割を理解するとともに、社会人としてのマナーや仕事の大切さを体感していただきました。



地域イベントに参加



令和元年11月3日、大和郡山市で行われた「親子まつり」において「税金クイズ」を実施し、たくさんの親子に参加いただきました。

